

長野県感染症情報（2016年（平成28年）第 33週） （2016年 8月15日 ～ 2016年 8月21日）

2016年（平成28年）8月24日
 長野県健康福祉部保健・疾病対策課感染症対策係
 （課長）小松仁（担当）山崎千速 笠原ひとみ
 026-235-7148(直)
 026-232-0111(代)内線2640
 026-235-7170(FAX)

●全数把握感染症

腸管出血性大腸菌は、夏期に多発します。感染すると腹痛や下痢を起こし、まれに出血性の下痢や溶血性尿毒症症候群(HUS)を引き起こします。乳幼児、小児、高齢者の方などは重症化する場合がありますので、注意が必要です。

●定点把握感染症

ヘルパンギーナは前週に比べ減少しましたが、例年、お盆明けに再度増加する傾向がみられることから、今後も注意が必要です。流行性耳下腺炎は例年に比べ多い状況であり、今後の流行拡大が懸念されます。

長野県感染症情報 ～トピックス～

<http://www.pref.nagano.lg.jp/hoken-shippei/kenko/kenko/kansensho/ichiran.html>

環境保全研究所病原体検出状況

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kanken/jigyo/gyomu/bunya/kansensho.html>

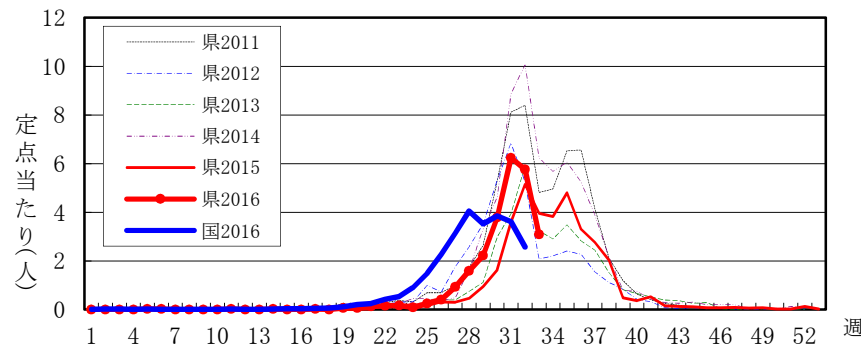
全数把握感染症届出状況

一類感染症	なし
二類感染症	結核 3例
三類感染症	腸管出血性大腸菌 2例(O157 2例)
四類感染症	レジオネラ症 1例
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例、急性脳炎 1例、 侵襲性肺炎球菌感染症 1例、水痘(入院例) 1例
動物感染症	なし

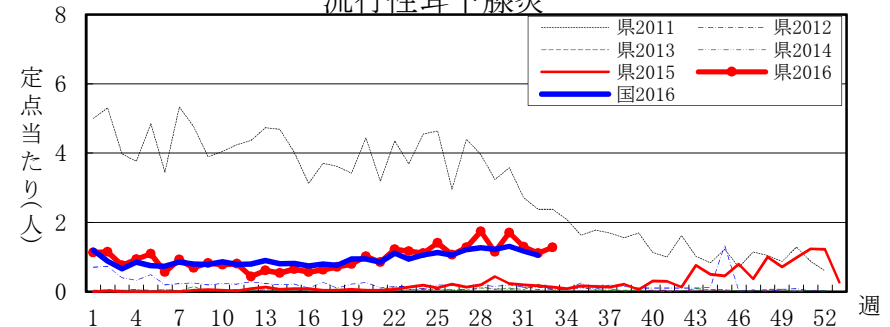
定点把握感染症届出状況

感染症名	今週	1週前	2週前
1 ヘルパンギーナ	3.09	5.76	6.24
2 感染性胃腸炎	2.02	3.02	2.81
3 流行性耳下腺炎	1.28	1.11	1.30
4 マイコプラズマ肺炎	1.09	0.82	0.73
5 流行性角結膜炎	0.91	0.45	1.09

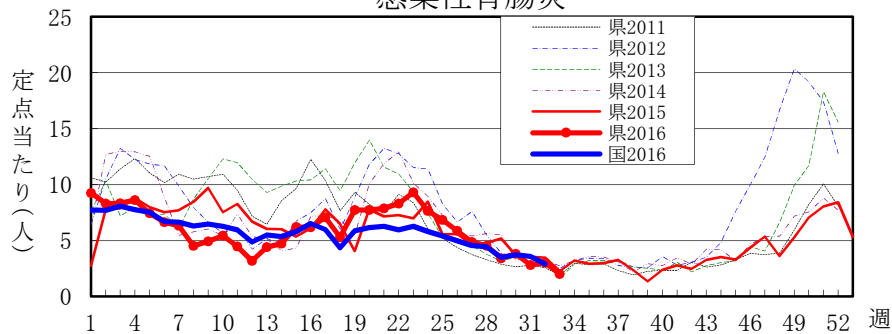
ヘルパンギーナ



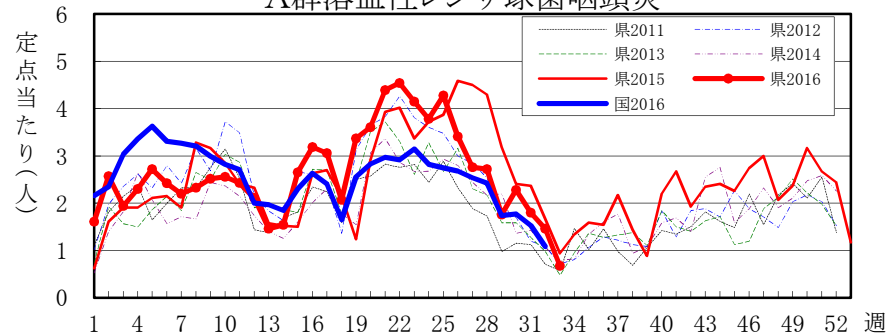
流行性耳下腺炎



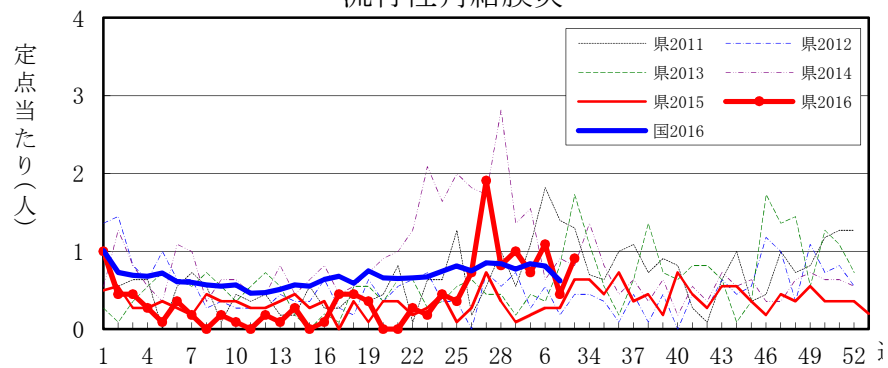
感染性胃腸炎



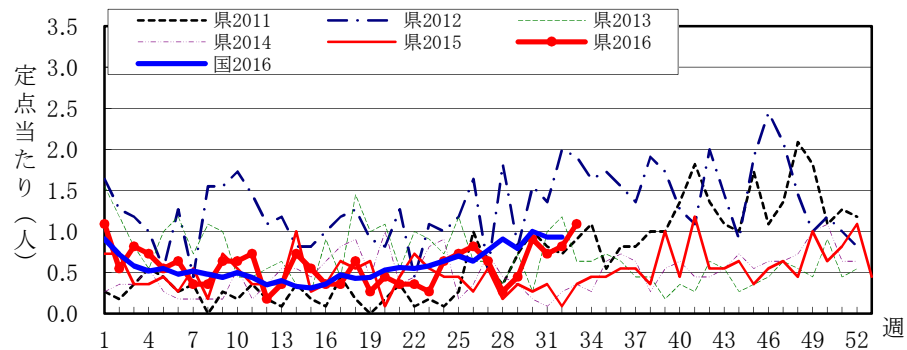
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



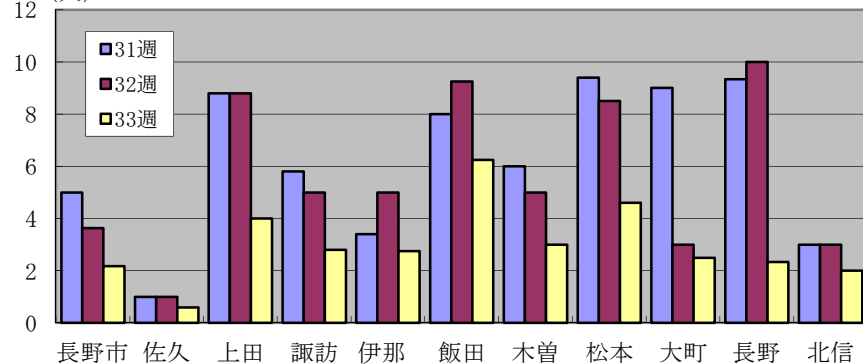
流行性角結膜炎



マイコプラズマ肺炎



ヘルパンギーナ地区別患者届出数



流行性耳下腺炎地区別患者届出数

